

令和 6年 4月号

交 番 だ よ り

三 田 警 察 署
079-563-0110
三 田 駅 前 交 番

薬物乱用防止 ～薬物乱用のない社会を～

薬物事犯の現状

令和5年中の県内における薬物事犯検挙人員は724人で、前年から108人増加しました。

大麻は、30歳未満の若年層を中心に乱用が拡大しており、検挙人員は447人（前年比+124）で、前年に引き続き覚醒剤事犯を上回りました。

従来の乾燥大麻に加え、電子煙草に似た大麻リキッドが主に乱用されています。

覚醒剤事犯の検挙人員は257人（前年比-11）で、前年から減少しましたが、引き続き高い需要が認められます。

少年の薬物乱用

令和5年中に県内で薬物事犯により警察が検挙した少年は92人で、違反種別では、覚醒剤事犯は5人（前年比-2）、大麻事犯が86人（前年比+12）、麻薬等事犯が1人（前年比±0）でした。

職業別では、無職少年13人、有職少年55人、学生・生徒24人となっています。

依然として大麻乱用少年が多く検挙されている現状を踏まえ、大麻の有害性に対する正しい理解を持ってもらうための広報啓発活動等に取り組んでいます。

～薬物対策の推進～

薬物の乱用を防止するためには、社会全体で「薬物乱用は許さない」という気運を醸成することが必要です。

若年層の性暴力被害予防対策の推進

若者が性暴力被害に被害に遭わないために、

- スカウトから勧誘を受けた際は、名刺をもらい、名前・事務所を確認する。
- その場ですぐに決めず、一度家に持ち帰って考える。
- SNS等の個人情報には絶対に教えない。
- 内容がよく分からない書類には、その場でサインをしない。

などしてください。

また、アダルトビデオ出演被害問題では、女性が出演を断ると多数のプロダクション関係者に取り囲まれて、「契約違反となる」「違約金を払え」等と脅されることで女性が萎縮し、結果として被害に遭ってしまう場合がありますので注意しましょう。

春の行楽期における山岳遭難の防止

～しっかり準備で安全登山～

春は気候が良く、各地の山において多数の登山客が見込まれますが、それに伴って、道迷いや滑落等の山岳遭難の発生が懸念されます。登山等をする際は、次の点に注意し、遭難防止に努めてください。

- 登山計画の策定
- 登山届の提出
- 万全な体調で臨みましょう